

東北大学附属図書館報

木這子



BULLETIN OF
THE TOHOKU UNIVERSITY LIBRARY

このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。

**このページは
著作権処理の都合上、
ご覧いただけません。**

工 学 分 館

1. 沿革

工学分館は、東北大学図書館システムのなかで、工学部にかかる図書館業務を所管するとともに、全学にわたる工学分野の専門別分館として機能させるべく、昭和53年4月に創設されました。

元来工学部では、大正8年5月創設時より、図書館資料を各学科に分置する、いわゆる分散型図書室制を採用してきましたが、この体制では、業務の処理、情報の提供の面で万全ではありませんでした。これらの問題を解決するため、昭和42年、学生用図書及び研究用二次資料を集中管理・運用する工学部中央図書室を設置、昭和45年には、整理業務を独立して処理するため工学部事務組織の中に図書掛が新設されました。その後、図書館体制の再検討の必要に迫られ、従来の学科図書室の機能を保持しながら、工学部図書掛を発展的に解消して、昭和53年4月に工学分館を創設、管理掛と整理・運用掛の二掛体制になりました。平成5年4月より、大学院情報科学研究所の新設に伴い、その図書業務も担うようになりました。

建物は、昭和55年に鉄筋コンクリート2階建て(2,712m²)でしたが、極めて狭かったというのが実情でした。平成7年2月に増築(2,643m²)が行われ、これと平行して各学科に分散していた図書を分館に集中し、学科図書室も廃止・統

合され、約17万冊の資料が集積、職員数も17名となりました。一方、事務組織の見直しを行い、これまでの学科図書室の機能を継承しつつ、更に高度なサービス業務を展開すべき責任体制を確立するため、平成9年4月に図書館専門員の設置をみましたが、更に、掛の拡充・事務長の設置も望まれるところであります。

2. 資料

工学分館は、おもに工学技術・自然科学系の資料が収蔵・配置されています。新館2階には学生用の単行書が、NDC分類順により配架されています。この単行書は、工学部の教官で構成される学生用図書選定委員会において選定されています。新館3階には、国内雑誌が誌名の読みのアルファベット順に配架され、旧館2階には、外国雑誌が同様に配架されています。新館1階の積層書架には、学科図書室より移動した単行書類が、それぞれの学科毎に、学科独自の分類で配架されています。この資料は現在巡回入力を実施中でコンピュータによる貸出がまもなく可能になります。

学科図書室を統合した際、各学科で重複購入していた雑誌が多く、1部を分館に配架し、重複した分は他大学、高専等に管理換を予定しています。統合後、雑誌については、工学部キャンパス内に一部所蔵すればよいという考えのもとに、購入の重複調整を行い、洋雑誌に関してはかなりの経費節減を図りました。増築の移転時には、学科図書室に収容されていた雑誌と分館に現存していた雑誌の混配整理作業に多くの時間と労働を要しました。これらの配架スペースはほぼ満杯で、一部、書架の増設等で急場をしのいでいますが、利用頻度の低い資料の廃棄等、抜本的な解決がせまられています。

当館のユニークな資料として、「Gmelin Handbook」と「Beilstein Handbook」があ



り、学内関係部局の共同購入図書となっています。前者は、元素・無機化合物のデータであり、後者は炭素化合物の製法・性質に関する便覧で自由に閲覧できるようになっています。

3. サービス

開館時間は、平日の9時から20時までとなっています。工学部・情報科学研究科の研究者については、20時以降及び土・日曜日にも、入退館カードにより、自由に入館できるようになっています。学科図書室統合以前は、開館時間は18時30分までで、入退館カードの利用は土曜・日曜日のみでしたが、資料の集中化に伴う利用者の便宜を図るため、現在の平日の閉館後でも利用できるよう改めました。

資料の無断持ち出し防止対策として、カウンター前にブック・ディテクション・システムが配置されています。このシステムは工学分館の建物の竣工時に設置されましたが、長年の使用のため、最近誤作動等が頻繁に発生していました。これを解決するために、平成9年4月より最新型のシステムを導入しました。その後、利用者に迷惑をかけることなく、順調に稼働しています。

館内は全面自由開架方式で、単行書は貸出可能ですが、雑誌については貸出禁止となっています。これに対処するため、館内に複写機6台を設置し、各研究室に配布してあるコピーカードで自由に複写できるようになっています。

工学部の博士論及び修士論文の一部が、電動

集密書庫に保管されています。館内閲覧だけに限られていますが、最近、この利用が増加している状況にあります。年々増える論文であり、収容スペースの不足に対処するため、CD-ROM化、また簡単に検索できるようデータベース化等を考える時期に来ていると思います。

平成8年4月より各研究室を対象にコンテンツ・シート・サービスを開始しました。当初72講座に363タイトルを学内便にて送付しましたが、迅速化を図るため、平成9年4月よりファクシミリによる送付を始めました。

一階ホールには、新着雑誌コーナーがあり、自由に手にとって閲覧できます。またビデオベース4台が配置されています。ビデオ、LD、CDが視聴でき、当館所蔵のビデオも利用できます。

4. 施設

最後に増築部分の建物に触れてみます。新館の屋根は独特の形状で、鳥が翼を広げた形を表現しています。3階閲覧室の窓は、ミラーガラスを採用し、西日を遮る効果があります。

旧館と新館の繋ぎの部分は、天井が高く、明るく広い空間のスペースの小ホールとなっています。冬期は床暖房が効き、多目的のホールとして利用できます。壁面には数点の絵画が飾られ、特に最近寄贈されたもので、佐藤勝昭氏作「古城のある風景」「街並」の二点は、英國の町を描いた百号サイズにも及ぶ壮大な絵画で利用者の目を引いています。

当館は、自然環境に恵まれた青葉山に位置し、西側には數十匹の鯉が群れ泳ぐ池があり、その周囲にベンチが配され、工学部学生諸君の憩いの場となっています。

所在地 仙台市青葉区荒巻字青葉 〒980-8579

電話 022-217-5894・5895

FAX 022-263-9298



平成9年度東北大学附属図書館職員総合研修会

今年度2回目の東北大学附属図書館職員総合研修会は、「電子図書館システムの推進計画の現状」をテーマとして、以下のプログラムで開催されました。

日 時：

平成10年1月20日（火）13：30から17：00

場 所：

附属図書館2号館大会議室

講 演：

「筑波大学附属図書館における電子図書館への取組」

田中 成直 氏（筑波大学図書館部情報システム課課長補佐）

「京都大学電子図書館システムの計画・導入・稼働まで」

片山 淳 氏（京都大学附属図書館情報管理課図書館専門員）

「電子図書館の構築と運用について－奈良先端科学技術大学院の取組－」

松村 宗男 氏（奈良先端科学技術大学院大学研究協力部学術課課長補佐）

今回の研修は、1回目の「電子図書館」に続き、電子図書館化の整備・充実を図るための具

体的な事項についてのものであり、電子図書館化を先進的に構築し、サービスを実施している大学の現状を講演願い、今後の附属図書館における電子図書館の構築に役立てるためのものであります。

3人の講師の方々から、それぞれの大学における電子図書館化への取組状況、電子図書館システムの概要と特徴、これから課題について講演していただきましたが、それぞれの大学とも電子図書館を構築するにあたっては並々ならぬご苦労があり、かつ、今後「著作権問題」という高いハードルを越える必要があるとのことでした。

今回の講演は、大学図書館が模索しながら進めている電子図書館を実現した経過及び今後の課題の具体的なものであり、大変有意義な研修会であったと思われます。

また、研修会には学内外から約70人の図書館職員に参加していただき、電子図書館についての理解が得られ、研修の目的が果たせたと思われます。

（総務課）



仙台での思い出

情報管理課長 宮 坂 寛

はじめに

かねてから私が仙台を去る時には、水鳥が水面を飛び立つ時のように、何も残さずお別れをする積もりでおりました。

2月13日の金曜日に、案の定広報委員会から原稿の依頼がありました。私は予定どおりお断りしましたが、少し時間を頂いた後、自分も経験したことのある升目の苦労も考えて、やむなく『仙台での思い出』を幾つか紹介することで引き受けたことと致しました。

素敵な【詩】のこと

何かをしよう（坂村 真民 詩）

何かをしよう

みんなのためになる

何かをしよう

よく考えたら自分の体に合った

何かがある筈だ

弱い人には弱いなりに

何かがある筈だ

老いた人には老いた人なりに

何かがある筈だ

生かされて生きているご恩返しに

小さいことでもいい

何かをしよう

一年草でも

あんなに美しい花をつけて

終わってゆくではないか

この詩は、私が仙台に着任してまもなくの頃、広瀬通りにある「WAVE 88」というビルの1階入口に書かれているのを散歩していく出逢ったものです。今、大学図書館は電子図書館的機能の充実・強化という波が押し寄せて揺れてお

ります。電子化が得意な人と不得意な人。老兵は語る資格すらないかもしれません。しかし、私は電子化に素早く対応出来る人は素晴らしいとは思いますが、その人達だけが良くて、できない人はダメだとは思いません。

今は、一人一人が違いを認め合うことが一番大切な時のように思いました。能力発揮というのは、できる人はできる人なりに、できない人はできないなりに、この詩のように各々が自分の生き役に気づいておごることなく持ち味を精一杯発揮することではないでしょうか。

事務室の【生け花】のこと

職員玄関を入ると左側に事務室があります。この3年間、私は1階事務室で2人の女性が活ける生け花をみせて頂きました。ご本人達はただ好きで活けている（これも1つの立派な生き役だと思います）のでしょうかが、私は毎日その活ける花のすばらしさに感動しておりました。

そのうち、この生け花から色々なことを学ぶようになりましたので紹介させて頂きます。それは、人間に生命があるように花にもいのちがあるということです。生け花の花は、根っこが切り捨てられています。人間にたとえますと過去とか、今後・将来というものを完全に断ち切り、見てくれる職員がいようがいまいが、その相手をも断ち切って、ただ美しく「今という瞬間」を見せててくれております。

東北大学第7代総長であった本多光太郎先生の色紙が生協で販売されておりますが、その色紙の書かれている文字は「今が大切」であります。

点の連続によって、線ができるのですが、今という瞬間が充実していなくて、充実した人

生もあったものではありません。事務室の生け花も本多光太郎総長も同じことを教えていました。

私の取り組んだ【仕事】のこと

大学紛争後、私の夢は新しい大学で、新しい図書館作りに参画したいというものでした。

夢が叶って筑波大学図書館部に勤務できた私はいろいろなことを提言し、その実行に参加させて頂きました。私が最後に取り組んだ仕事は図書館ボランティアの導入でした。

大学が地域に開かれた高等教育機関として地域社会との連携を強化し、積極的に生涯学習社会の実現に貢献しようというものです。福祉ボランティア的ではない、自己実現につながる生涯学習という観点からのボランティアの導入は館内の共通理解を得るために2年間を要しました。大変辛い時期もありましたが、この取り組みは今年度になって図書館活動における功績ということで筑波大学で一緒に取り組んだ仲間が国立大学図書館協議会賞を受賞することになりました。

この分野は、図書館の電子化とは異なりますが“みんなのためになる何かをしよう”的な私の公務員最後の大きな取り組みでした。

東北大学は、建学に際して「研究第一主義」と「門戸開放」を標榜し、後者の男女共学の実現はその先見性を誇りとしています。

ボランティア活動の「場」の提供についても、21世紀の共生社会実現のために早く実現されることを願っております。

経済学部の【猫】のこと

図書館から生協へ行く途中の掲示板の下に、クロという子猫がおります。そのクロのフィアンセにミミという茶系の虎猫がいることも図書館職員なら大抵知っています。この猫のことで紹介させて頂きます。

数年前、青葉山にある工学分館のある職員が

餌を与えていたシロ（シロとも言っていた雄猫）が突然すがたを消すことになって今の場所に居着いたようですが、シロはいじめに遭って青葉山を降りざるを得なかったようです。その傷ついたシロに餌を与え、元気づけたのが心やさしい図書館職員のボランティアであった訳です。

1日も休まず継続して交替で餌をやっている行為のなんとすばらしいことか！人間も動物も植物も命は貴いもので、他を思いやるやさしさは紹介せざるを得ませんでした。

諸行無常という言葉がありますが、元気になったシロはもうこの場所にはおりません。シロが姿を消す前にどこからとなく連れてきたのが現在の2匹の子猫と云う訳です。私は東北大学の心の豊かな館員から「共に生きる」ということの大切さを強く学ばせて頂きました。

共生は、人と人の関係だけではなく、人間と自然や生物の関係も含まれています。そして、このことは今日の競争社会における「いじめ」問題や環境教育、留学生教育などにも通じる話題であると思いました。まもなく訪れる21世紀は、地球上のすべての存在との関係が大きなテーマになることでしょう。

おわりに

先日、仙台駅前に開店した図書館よりもっと図書館？！というキャッチフレーズの関西系大規模書店に行きました。約60万冊あるという本の中からまたもや坂村真民氏の“尊いのは足の裏である”という一遍の詩に出会いました。

尊いのは、頭でなく、手でなく、足の裏である。一生人に知られず、一生汚い処と接し、黙として、その努めを果たしてゆく。足の裏が教えるもの、しんみんよ、足の裏的な仕事をし、足の裏的な人間になれ。というものでした。

仙台での一遍の誌等との出逢いから白紙で再スタートを開始します。

(みやさか・ひろし)

お 知 ら せ

平成10年度・東北大学附属図書館（本館）の開館計画について

のことについて、下記のとおりお知らせします。

なお、この計画を変更する場合は、その都度お知らせしますのでご了承下さい。

記

I. [開館時間]

平日 9:00~21:00

土曜日 9:00~17:00

但し、次の期間は開館時間を変更します。

期 間	開 館 時 間
平成10年4月1日（水）～4月4日（土）	
〃 8月1日（土）～8月29日（土）	平日 9:00~17:00
〃 12月19日（土）～12月24日（木）	土曜日 9:00~12:30
平成11年2月13日（土）～3月31日（水）	

II. [休館日]

- (1) 日曜日
- (2) 国民の祝日に関する法律・第3条に規定する休日
- (3) 本学創立記念日（6月22日）
- (4) 年末年始（12月25日から翌年1月4日まで）
- (5) 本学学位記授与式当日（3月25日）
- (6) 館長が必要と認めた日

東北大学附属図書館（本館）
平成10年度（1998年度）・開館計画表

	日 月 火 水 木 金 土							日 月 火 水 木 金 土					
	*	*	*	1	2	3	4	*	*	*	1	2	3
4 月	5	6	7	8	9	10	11	10	11	12	13	14	15
	12	13	14	15	16	17	18	11	12	13	14	15	16
	19	20	21	22	23	24	25	18	19	20	21	22	23
	26	27	28	29	30	*	*	25	26	27	28	29	30
	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
5 月													
	*	*	*	*	*	1	2	11	12	13	14	15	16
	3	4	5	6	7	8	9	18	19	20	21	22	23
	10	11	12	13	14	15	16	25	26	27	28	29	30
	17	18	19	20	21	22	23	30	*	*	*	*	*
	24	25	26	27	28	29	30	*	*	*	*	*	*
6 月													
	*	1	2	3	4	5	6	12	13	14	15	16	17
	7	8	9	10	11	12	13	21	22	23	24	25	26
	14	15	16	17	18	19	20	28	29	30	31	*	*
	21	22	23	24	25	26	27	30	*	*	*	*	*
	28	29	30	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*
7 月													
	*	*	*	1	2	3	4	1	2	3	4	5	6
	5	6	7	8	9	10	11	3	4	5	6	7	8
	12	13	14	15	16	17	18	10	11	12	13	14	15
	19	20	21	22	23	24	25	17	18	19	20	21	22
	26	27	28	29	30	31	*	21	22	23	24	25	26
8 月													
	*	*	*	*	*	*	1	1	2	3	4	5	6
	2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12
	9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19
	16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26
	23	24	25	26	27	28	29	28	29	*	*	*	*
9 月								2	3	4	5	6	7
	*	*	1	2	3	4	5	7	8	9	10	11	12
	6	7	8	9	10	11	12	14	15	16	17	18	19
	13	14	15	16	17	18	19	17	18	19	20	21	22
	20	21	22	23	24	25	26	25	26	27	28	29	30
	27	28	29	30	*	*	*	23	24	25	26	27	28

注1) 反転文字 例) ② : 休館日

2) [] 内: 開館時間の変更期間

平 日 - 9:00~17:00

土曜日 - 9:00~12:30

附 属 図 書 館 の 概 況

この概況は毎年実施される大学図書館実態調査のうち主な項目をとりまとめたものである。表1は平成6年～平成8年度の概況、表2は平成8年度部局別のそれである。

表 1

区 分		平成6年度	平成7年度	平成8年度
蔵 書	和	1,648,977 冊	1,682,385 冊	1,716,662 冊
	洋	1,606,278	1,642,318	1,678,133
	計	3,255,255 冊	3,324,703 冊	3,394,795 冊
所蔵雑誌数	和	22,153 種	23,524 種	24,973 種
	洋	35,315	35,780	34,361
	計	57,468 種	59,304 種	59,334 種
年間受入数	和	36,762 冊	33,466 冊	35,395 冊
	洋	34,920	36,112	36,001
	計	68,682 冊	69,578 冊	71,396 冊
年間雑誌受入数	和	11,177 種	11,241 種	11,637 種
	洋	9,205	9,489	9,419
	計	20,382 種	20,730 種	21,056 種
奉仕対象者数	学 生	17,677 人	18,309 人	17,985 人
	教 官	2,504	2,645	2,524
一人当たり奉仕対象	蔵書数(冊)	161.3	158.7	165.5
	年間受入冊数(冊)	3.4	3.3	3.5
	図書館資料費(千円)	35.7	39.2	36.9
図書館職員数	総 数	146	142	141
	専 任	82	76	77
	臨 時	64	66	64
図書館職員1人当たり奉仕対象者数		138.2	147.6	145.5
図書館資料費(千円)		719,917	820,644	756,926
大 学 総 経 費(千円)		86,423,354	93,735,333	93,382,205

表 2

部 局	職員数(人) 固定員外職員 の内数	蔵 書(平成9年3月31日現在)						平 成 8 年 度 受 入 冊 数						平 成 8 年 度 経 費						施設(平成9年5月1日現在)									
		図 書(冊 数)			雑 誌(種類数)			図 書(冊 数)			雑 誌(種類数)			図 書館 資 料 費			運 営 費 職員給与除 (千円)			座席数		延面積		閲覧室 スベース (m²)		書 庫 スベース (m²)		収容可能 冊 数 (冊)	
		和	洋	計	和	洋	計	和 (56)	洋 (56)	計 (56)	和 (56)	洋 (56)	計 (56)	図 書 (千円)	雑 誌 (千円)	その他の (千円)	計 (千円)	(席)	(m²)	(m²)	(m²)	(m²)	(m²)	(冊)					
本 館	本 館	59 (25)	660,302	342,792	1,003,094	10,334	7,213	17,547	12,625 (7,772)	6,670 (3,518)	19,295 (11,290)	3,018 (539)	990 (518)	4,008 (1,057)	36,789	18,791	2,787	58,367	204,923	1,144	18,215	4,180	6,847	1,751,528					
	文 学	2 (2)	230,502	130,271	350,773	1,155	973	2,128	6,503 (3,621)	3,085 (1,948)	9,589 (5,569)	702 (331)	595 (581)	1,297 (912)	52,606	9,283	0	61,889	5,128	1	68	2	10	4,972					
	教 育	2 (2)	51,298	35,501	86,799	690	414	1,104	1,083 (743)	741 (249)	1,824 (9992)	601 (120)	234 (225)	835 (345)	8,213	5,951	0	14,164	11,125	20	268	89	90	11,950					
	法 学	3 (0)	97,154	125,880	223,034	1,000	723	1,723	2,165 (1,044)	2,081 (1,745)	4,247 (2,789)	826 (213)	573 (506)	1,401 (719)	25,753	11,363	9,045	46,182	6,686	35	835	65	580	80,778					
	經 濟	4 (2)	167,067	160,535	327,602	1,528	1,116	2,644	2,887 (1,730)	2,482 (1,587)	5,369 (3,317)	873 (133)	525 (439)	1,398 (572)	33,467	14,229	0	47,696	13,429	18	286	46	164	27,472					
	遺 生 研	1 (0)	17,838	11,994	29,832	441	303	744	62 (9)	175 (36)	237 (45)	123 (32)	96 (74)	219 (106)	741	4,883	0	5,624	451	4	206	18	160	30,444					
	素 材 研	1 (1)	8,109	16,611	24,720	178	368	546	115 (5)	345 (53)	460 (58)	91 (48)	102 (76)	193 (124)	1,014	8,954	0	9,968	4,764	16	246	37	144	25,972					
	科 研	1 (0)	4,405	16,734	21,139	61	256	317	30 (5)	449 (109)	479 (114)	27 (10)	60 (60)	87 (70)	1,832	10,338	0	12,170	1,090	20	574	58	375	36,556					
	流 体 研	2 (2)	12,460	18,696	31,156	74	396	469	92 (64)	351 (65)	443 (129)	44 (31)	103 (92)	147 (123)	1,550	8,965	22	10,537	7,803	7	151	10	106	27,778					
	通 研	2 (0)	8,107	21,694	29,801	246	466	712	202 (37)	800 (107)	1,002 (144)	121 (104)	196 (189)	317 (293)	2,876	16,385	444	19,705	2,606	10	275	20	235	39,667					
	反 応 研	2 (1)	6,744	23,423	30,167	133	452	585	94 (19)	655 (96)	749 (115)	69 (32)	128 (115)	197 (147)	4,362	17,152	0	21,514	3,433	21	382	63	252	41,194					
	サイクロトロン	2 (2)	864	3,899	4,763	8	94	102	0 (0)	164 (0)	164 (0)	0 (0)	29 (29)	29 (29)	0	5,497	0	5,497	3,000	4	98	12	35	5,778					
	東北アジア		315	95	410	1	0	1	315 (274)	95 (94)	410 (368)	1 (1)	0 (0)	1 (1)	0	0	0	0	0										
	計	81 (37)	1,265,165	908,125	2,173,290	15,849	12,773	28,622	26,174 (15,323)	18,094 (9,607)	44,268 (24,930)	6,495 (1,594)	3,633 (2,904)	10,129 (4,498)	169,203	131,811	12,299	313,313	264,438	1,300	21,604	4,600	8,998	2,084,089					
医 学 分 館	医 学 分 館	20 (11)	153,266	237,974	391,240	3,010	9,237	12,247	2,507 (1,262)	5,712 (439)	8,219 (1,701)	1,315 (515)	2,335 (1,991)	3,650 (2,506)	21,035	99,828	4,363	125,226	59,478	327	4,025	256	2,190	418,222					
	北青葉山分館	11 (5)	67,860	258,351	326,211	1,590	6,268	7,858	1,411 (589)	5,376 (875)	6,787 (1,464)	952 (240)	1,457 (799)	2,409 (1,039)	28,478	87,798	273	116,549	46,037	248	3,356	1,140	1,310	296,194					
	工 学 分 館	17 (6)	147,287	165,815	313,102	2,194	3,804	5,998	4,168 (1,893)	4,658 (2,029)	8,826 (3,922)	1,576 (493)	1,201 (1,041)	2,777 (1,534)	43,334	85,817	2,568	131,719	49,167	364	5,355	2,460	605	286,416					
	農 学 分 館	6 (2)	66,325	50,779	117,104	2,149	1,530	3,679	971 (569)	1,123 (220)	2,094 (789)	1,130 (141)	586 (304)	1,716 (445)	5,955	27,760	1,440	35,155	11,787	72	1,279	326	418	98,944					
	計	54 (24)	434,738	712,919	1,147,657	8,943	20,839	29,782	9,057 (4,313)	16,869 (3,563)	25,926 (7,876)	4,973 (1,389)	5,579 (4,135)	10,552 (5,524)	98,802	301,203	8,644	408,689	166,469	1,011	14,015	4,182	4,523	1,095,776					
全 研	全 研	6 (3)	16,759	57,089	73,848	181	749	930	164 (63)	1,038 (235)	1,202 (298)	168 (137)	207 (168)	375 (305)	8,688	25,319	957	34,964	7,341	35	515	169	234	63,333					
	総 計	141 (64)	1,716,662	1,678,133	3,394,795	24,334	34,361	59,334	35,395 (19,699)	36,001 (13,405)	71,396 (33,104)	11,637 (3,120)	9,419 (7,207)	21,056 (10,327)	276,693	458,333	21,900	756,926	438,248	2,346	36,134	8,951	13,755	3,247,198					

(注)職員数は平成9年5月1日現在

会 議

○学 内

10. 2. 2 記念資料室運営委員会専門委員会

2. 16 記念資料室運営委員会

2. 16 平成 9 年度分館長会議

○協議事項

(1) 平成 9 年度図書館資料費予算の「節約留
保還元配分」について

○報告事項

(1) 各館の概算要求について

(2) 漱石文庫のマイクロ化について

(3) 東北大学附属図書館百年史の編さんにつ
いて

(4) 各分館の状況について

(5) その他

10. 2. 18 平成 9 年度附属図書館商議会

○協議事項

(1) 平成 11 年度概算要求について

○報告事項

(1) 平成 9 年度図書館資料費予算について

(2) 東北大学自己評価報告書について

(3) 漱石文庫のマイクロ化について

(4) 各分館の状況について

(5) その他

○学 外

10. 1. 22 国立大学附属図書館事務部長会議

(於: 静岡大学)

編 集 後 記

今年は例年になく雪が多く、図書館でも職員総出で雪かきをしましたが、さすが 3 月になると五色沼の氷も完全に解けて、本格的な春のシーズンを迎えました。

さて、本誌 22 卷も最終号となりましたが、第 20 卷 3 号から始めました本館所蔵の貴重図書シリーズも 10 回を重ねることができました。これも偏にご執筆いただけた先生方の大変なる御協力によるものですが、本誌を通して読者の皆さんに少しでも多くの貴重図書を紹介できるよう回を重ねたいと考えております。

年度末という大変お忙しい中、今号のために御寄稿いただきました皆様、本当にありがとうございました。現広報委員会委員も今号の編集で任期満了となります、読書の皆様のご理解とご協力により役目を終了することができました。(F)

現広報委員会委員

谷内 聰 潤辺 剛 三澤 隆一
小松 武彦 湯田 昌史 森脇 ちか
今出 朱美 沼田 幸子 藤沢 和子

東北大学附属図書館館報「木這子」 第 22 卷第 4 号（通巻 81 号）発行日 平成 10 年 3 月 31 日

発 行 人 辻 英雄 広報委員長 谷内 聰

発 行 所 東北大学附属図書館 仙台市青葉区川内 電話 022-217-5910